

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月20日

計画の名称	岡山県における県民の豊かな生活を確保できる港づくり計画												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	岡山県												
計画の目標	県内港湾の施設整備を実施することで、物流機能の拡充・強化による港湾利用者の利便性の向上や、住民の憩いの場などの魅力ある港湾空間を形成し、地域経済の活性化・地域の振興を図ることを目的とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,049	A	1,049	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標) 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27当初)	(H29末)	(H31末)
1	水島港玉島地区での取扱貨物量の増加 [97万トン(H25)→114万トン(H31)] 港湾統計による取扱貨物量 [水島港玉島地区]	97万トン	114万トン	114万トン
2	利用がない用地の有効利用率 [0%(H27)→100%(H31)] 対象施設の内、利用転換済施設数/利用転換が必要施設数(1施設) = 有効利用率 [水島港水島地区]	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港玉島地区 乙島4号 泊地 (-10m) 浚渫	浚渫土量 V=83,613m ³	水島港 玉島地区	■	■				310		—
	H30より重点計画へ移行																		
	A02-002	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港玉島地区 棧橋(-5 .5m)	棧橋整備 L=100m	水島港・玉島地区		■	■			236	21.3	—
	H30より重点計画へ移行																		
	A02-003	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港水島地区 緑地	公園緑地 A=0.6ha	水島港 水島地区	■	■	■	■	■	470		—
	H30より重点計画へ移行																		
	A02-004	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	改良	水島港玉島地区 外貿1号 岸壁(-10.0m) 防舷材	防舷材 N=8基	水島港 玉島地区		■				28		—
	H30より重点計画へ移行																		
	A02-005	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	拠点	建設	水島港玉島地区 玉島南 幹線臨港道路標識	道路標識 N=1基	水島港 玉島地区		■				5		—
	H30より重点計画へ移行																		
											小計						1,049		
H30より重点計画へ移行																			
											合計						1,049		
H30より重点計画へ移行																			

事前評価チェックシート

計画の名称： 岡山県における県民の豊かな生活を確保できる港づくり計画

事前評価		チェック欄
I. 目標の妥当性		
①上位計画等との整合性		
I. 目標の妥当性		
1) 計画の目標が上位計画と整合している。		○
I. 目標の妥当性		
2) 港湾計画と整合している。		○
I. 目標の妥当性		
②地域の課題への対応		
I. 目標の妥当性		
1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。		○
II. 計画の効果・効率性		
①整備計画の目標と定量的指標の整合性		
II. 計画の効果・効率性		
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
II. 計画の効果・効率性		
②定量的指標の明瞭性		
II. 計画の効果・効率性		
1) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている。		○
II. 計画の効果・効率性		
③目標と事業内容の整合性		
II. 計画の効果・効率性		
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
II. 計画の効果・効率性		
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性		
II. 計画の効果・効率性		
1) 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。		○
II. 計画の効果・効率性		
2) 十分な事業効果が得られることが確認されている。		○
II. 計画の効果・効率性		
3) 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。		○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

①円滑な事業執行の環境

I. 目標の妥当性

1) 関係機関等との調整を行い、理解が得られている。

○

I. 目標の妥当性

②地元の機運

I. 目標の妥当性

1) 利用者や地元関連企業、地元自治体等からの要請がある。

○